

## 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（他の研究機関への既存試料・情報の提供用）

西暦 2019 年 12 月 16 日作成

研究課題名	ENIGMA (Enhancing Neuro Imaging Genetics through Meta Analysis) -Anxiety へのデータ提供
研究の対象	<p>「パニック症における MRI を用いた脳構造変化の検討」に参加されている方。  *この研究自体が、以下に記載した方を対象としています。</p> <p>「2004 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日に、当院精神科で、研究課題「思考・認知障害を伴う神経精神疾患の神経画像研究」に関して、「研究への参加と協力をお願い」の説明を受け、「研究への協力同意書」にて同意をされ、頭部 MRI 検査を受けた方で、パニック症もしくは健常者の方であり、また当時 18～59 歳であった方」</p>
研究目的 ・方法	<p>ENIGMA-Anxiety とは、不安症の脳病態解明のために、世界の研究施設から脳画像などの情報を集めて大規模データを蓄積し、解析してゆくプロジェクトです。これにより、高いエビデンスを持った結果を得ることができ、不安症の脳病態が解明されてゆくことが期待されます。本研究では、不安症の中でもパニック症を対象とした大規模研究に対して、上記の我々の研究によって得られた情報を ENIGMA-Anxiety に提供することを目的としています。</p>
研究期間	西暦 2019 年 12 月 26 日 ～ 西暦 2023 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	<p>我々の研究である「パニック症における MRI を用いた脳構造変化の検討」では、頭部 MRI 画像（T1 強調画像および T2 強調画像）、臨床評価尺度（パニック症重症度尺度、一般社会機能尺度など）、心理・認知機能検査（自己記入式不安尺度、自己記入式うつ病尺度、NEO-PI-R、など）、基礎情報（年齢、性別、利き手、社会経済状況評価尺度、内服薬情報）などのデータが集積されています</p>
外部への 試料・情報の 提供	<p>「パニック症における MRI を用いた脳構造変化の検討」で集積したデータのうち、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①基本情報：診断（パニック症、健常者）、年齢、性別、教育年数、IQ、発症年齢、投与薬剤の種類</li> <li>②臨床評価尺度：State-Trait Anxiety Inventory、Panic Disorder Severity Scale</li> <li>③脳容積情報：脳 MRI-T1 強調画像に対して FreeSurfer という脳画像解析ソフトを用いて解析した結果、得られた各々の脳皮質領域の容積および厚みの情報、皮質下脳構造物の脳容積の情報</li> </ol> <p>を提供します。</p>

<b>研究組織</b>	ENIGMA 提供したデータは、南アフリカのケープタウンにあるケープタウン大学と、オランダのライデンにあるライデン大学医療センターで厳重に保管されます
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 精神科 （研究責任者）浅見 剛 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-783-2540</p>	